

審査基準

審査の項目	配点	審査の視点	審査の視点の具体例
(1) 基本的な考え方	20	業務の内容と事業目的を正しく理解できているか	・本業務の内容について、十分に理解し、事業目的に沿った提案がされているか
(2) 業務内容(地域共生社会講座動画制作)	50	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・高知型地域共生社会の概念や日ごろからの地域のつながりの重要性などを分かりやすく紹介し、県民一人ひとりの行動のきっかけとなるよう、以下の点において効果的と認められる提案となっているか ①地域共生社会講座のキャッチフレーズ及び名称 ②地域共生社会講座のシナリオ又は絵コンテの素案 ③困りごとや生きづらさを抱えた人への支援や地域での支え合い活動等の県内事例の案 ④飽きずに最後まで視聴してもらうための工夫
(3) 業務内容(意識啓発に向けた広報)	45	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・高知型地域共生社会の認知度を高めるとともに、地域共生社会ポータルサイトの閲覧、地域共生社会講座動画の視聴、「気づいてつなぐ高知家地域共生社会研修」の受講につなげるために、以下の点において幅広い世代に訴求する効果的と認められる提案となっているか ①広報用チラシのデザインイメージ ②Web広告を配信する媒体(複数)及び配信回数や想定クリック数 ③広告からポータルサイトの閲覧等へつなげるための工夫
(4) 業務内容(ポータルサイトに掲載する取材記事の作成)	45	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・生きづらさを抱えた方の居場所づくりや就労体験、相談機関等、また、県内の市町村社会福祉協議会やNPO、民間企業等が行うつながりづくりや支え合い活動について、取材記事を通じて広く知ってもらい、取り組みへの理解者や参加者を増やすことにつながる取材先や内容(分かりやすく伝え、継続的な閲覧につなげる工夫等)が提案されているか
(5) 実施体制・スケジュール	14	事業目的を達成する適当な実施体制やスケジュールとなっているか	・業務内容に対して、十分な能力や経験及び実績を有する責任者及び担当者を配置しているか ・効果的に広報を行うスケジュールとなっているか
(6) 類似事業の実績	10	提案内容と類似の業務実績があるか	・提案内容と類似の業務実績があり、円滑な業務の遂行が見込めるか
(7) 経費見積	10	見積は適正か	・予算の範囲内であり、積算内訳及び根拠が明確に示されているか ・仕様に掲げた業務経費が全て計上されているか ・提案された業務規模と経費見積が大きくかけ離れていないか ・過剰な経費見積となっていないか
(8) 県が推進する施策への取り組み	6	県が推進する施策に取り組んでいるか	・「高知県ワークライフバランス推進企業」の認証を受けているか ・障害者の雇用促進に取り組んでいるか ・「こうちSDGs推進企業」に登録しているか